

お買いあげいただきありがとうございます。組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。  
十分検査しておりますが、万一不良品又は部品不足などがございましたら、誠に恐縮ですが右記までご連絡ください。

朝日木材加工株式会社  
〒440-0071 愛知県豊橋市北島町字北島87番地  
フリーダイヤル 0120-534577  
受付時間 / 9:00~12:00 / 13:00~17:30 (土・日・祝日を除く)  
(休日は変更となる場合があります。)

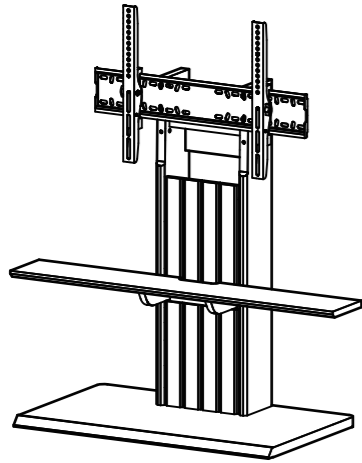
Model Name.

ピラスト  
ウォールスタンド

Model No.

PLW-1210TV-BK/MB

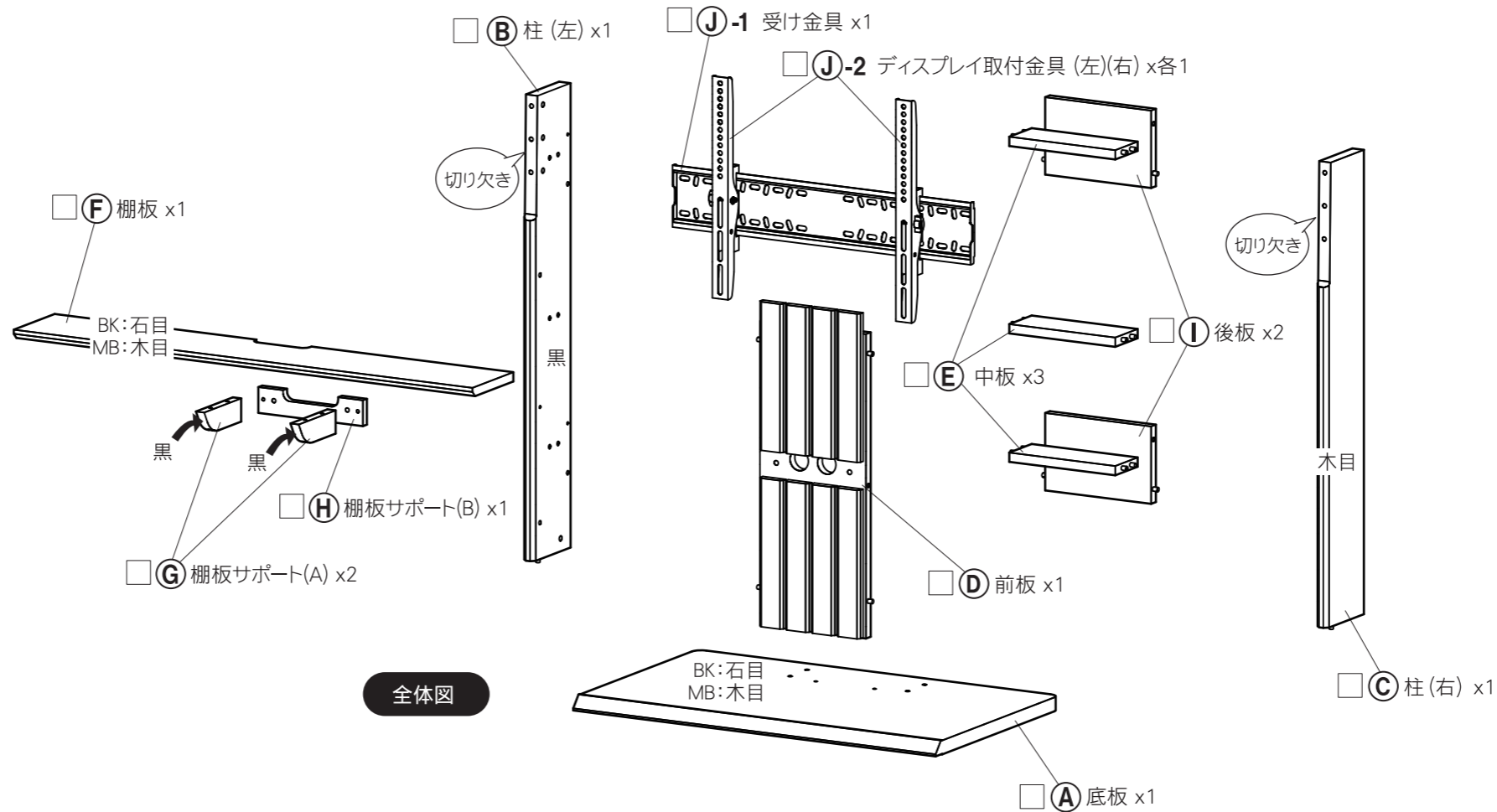
完成図



●まずは部品をチェック  しましょう。



本製品を組み立てる際は、必ず2人で作業を行うようにしてください。



部品

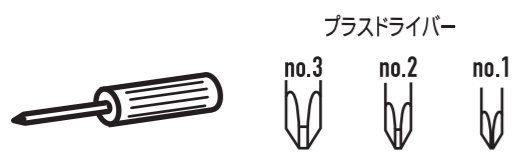
<input type="checkbox"/> ①	丸ナット		6
<input type="checkbox"/> ②	ボルト(A) M6 x 60		2
<input type="checkbox"/> ③	ボルト(B) M6 x 40		4
<input type="checkbox"/> ④	ボルト(C) M6 x 30		2
<input type="checkbox"/> ⑤	ラッパネジ		2
<input type="checkbox"/> ⑥	棚板用 ネジ		6
<input type="checkbox"/> ⑦	接着剤		1
<input type="checkbox"/> ⑧	カムネジ		6
<input type="checkbox"/> ⑨	締め付けネジ		6
<input type="checkbox"/> ⑩	転倒防止ロープ		1
<input type="checkbox"/> ⑪	クッション		9
m	六角レンチ		1

m 六角レンチは、壁掛金具 TLT-002-BKの  
梱包部品です。  
本体を組み立てる際にも使用します。

## 組み立てる時の注意点

- 本体を組み立てる時、ハンマーで直接たたかないように厚手の古雑誌などをあててたたいてください。
- 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様十分ご注意ください。
- この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」についても必ずお読みになって、捨てずに保管してください。
- 接着剤塗布を指定してある箇所には、必ず接着剤を塗布してください。尚、固まるまで2時間程度は、家具を動かさないでください。

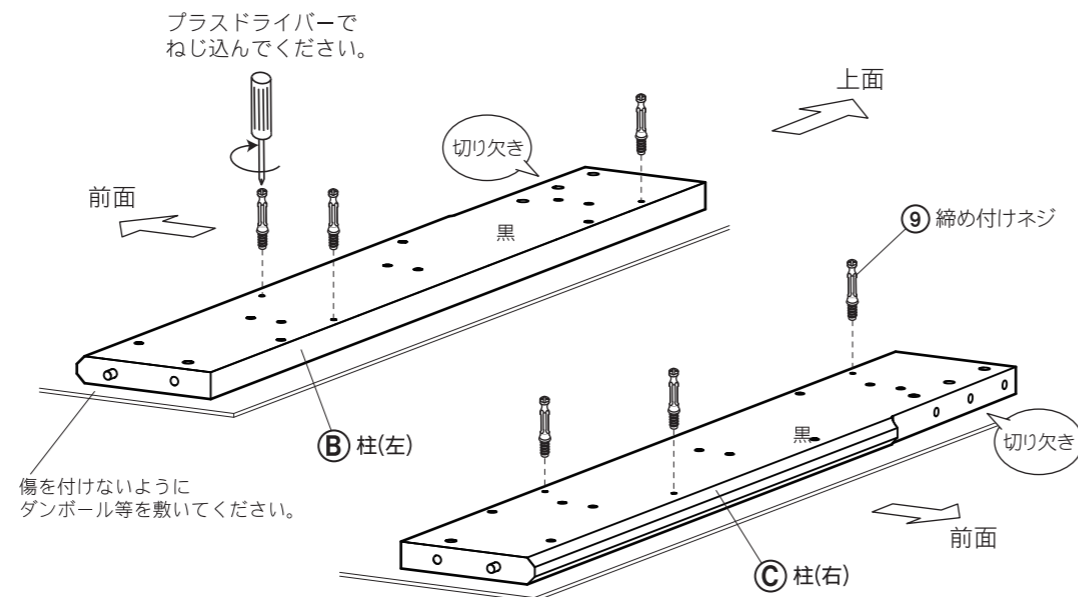
## 組み立ての必需品



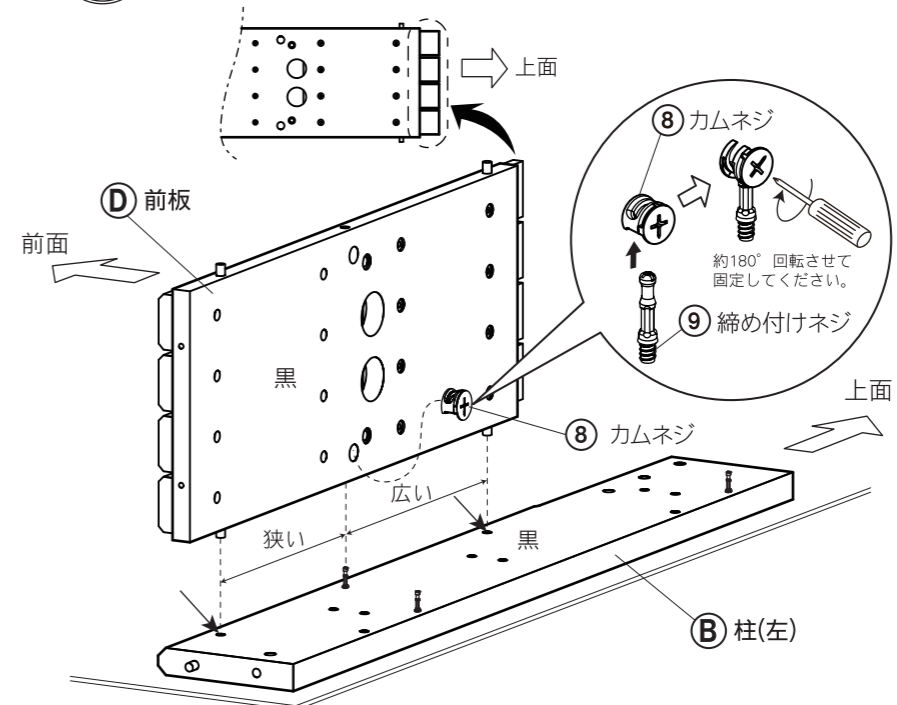
※ no.2 のドライバーを準備してください。



## 1 ① 柱(左) ② 柱(右)に締め付けネジの取り付け



## 2 ③ 柱(左)と④ 前板の組み立て



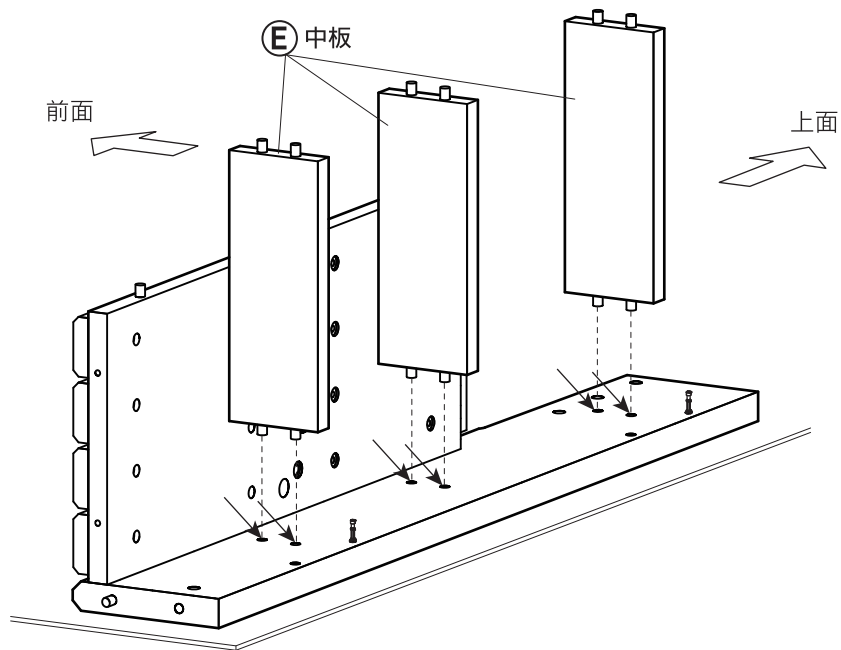
カムネジの取り付け方法  
詳細はこちら



<https://www.asahiwood.co.jp/products/faq/>

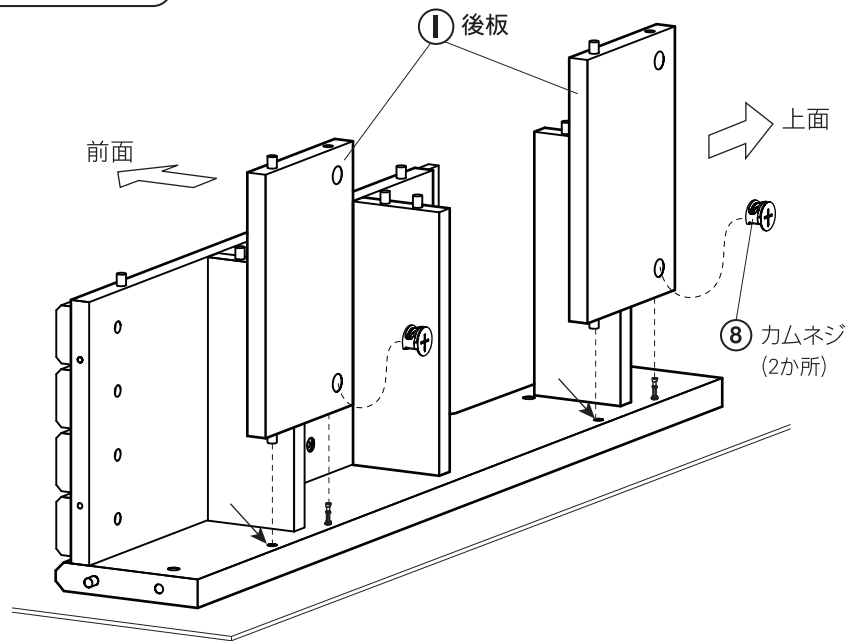
## 3 E 中板の組み立て

- ⑦の箇所に接着剤を塗布
- ハンマーなどで隙間の無い様にしっかりと叩き込んでください。その時、直接叩かずに古雑誌等をあててください。



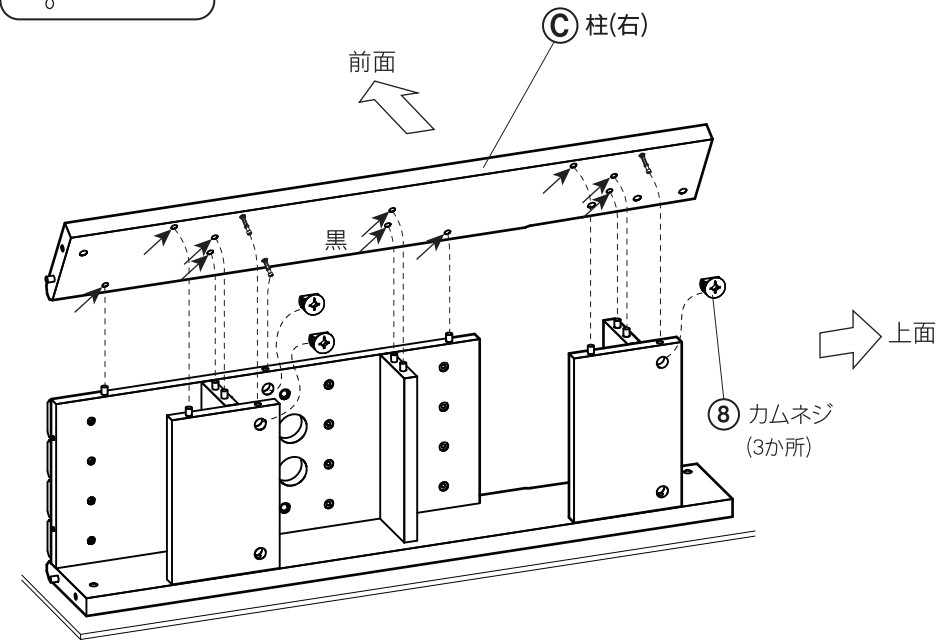
## 4 I 後板の組み立て

- ⑦の箇所に接着剤を塗布
- ※工程②と同様の方法で組み立ててください。



## 5 C 柱(右)の組み立て

- ⑦の箇所に接着剤を塗布
- ※工程②と同様の方法で組み立ててください。

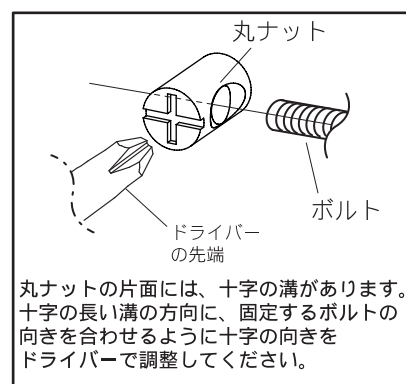
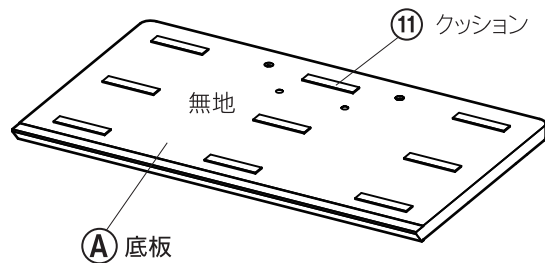


## 6 A 底板の組み立て



※底板と支柱を2人で持って穴の位置を確認しながら組み立ててください。

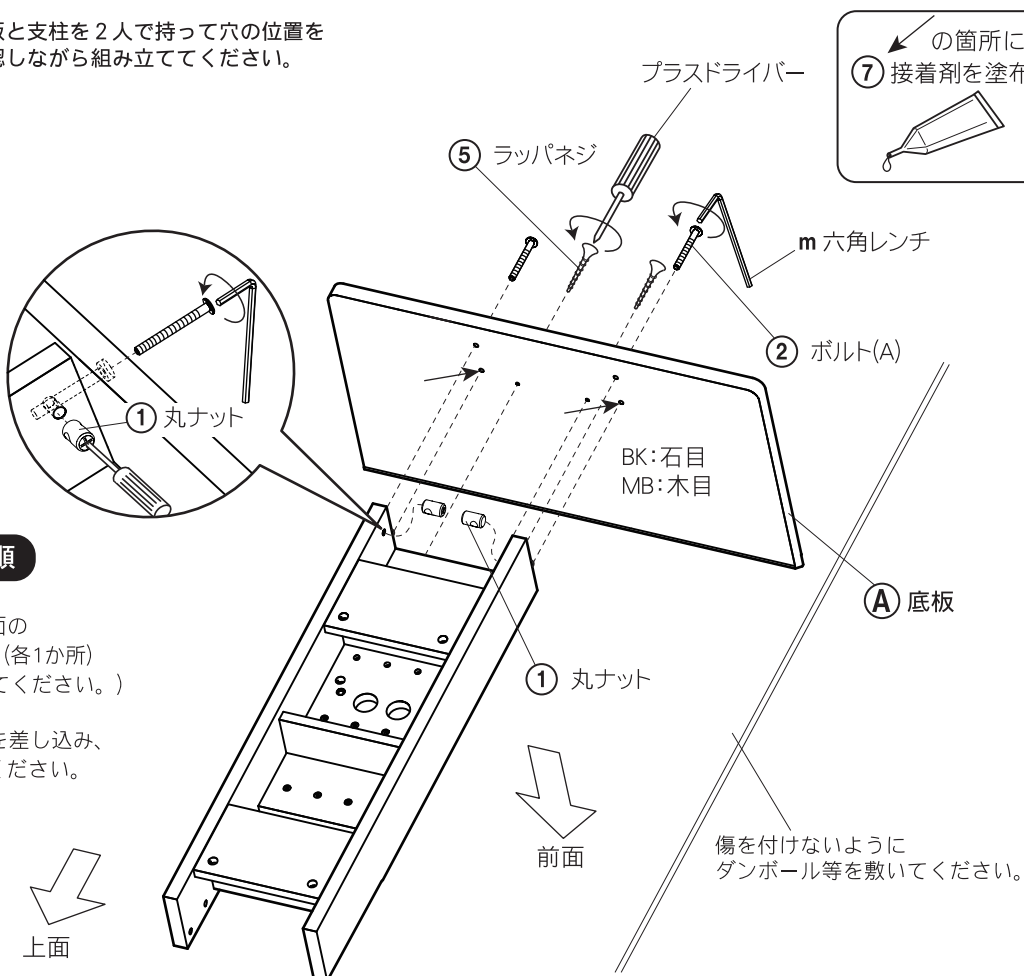
※底板を組み立てる前に底板の裏面にクッションを貼り付けてください。



### 柱と底板の組み立て手順

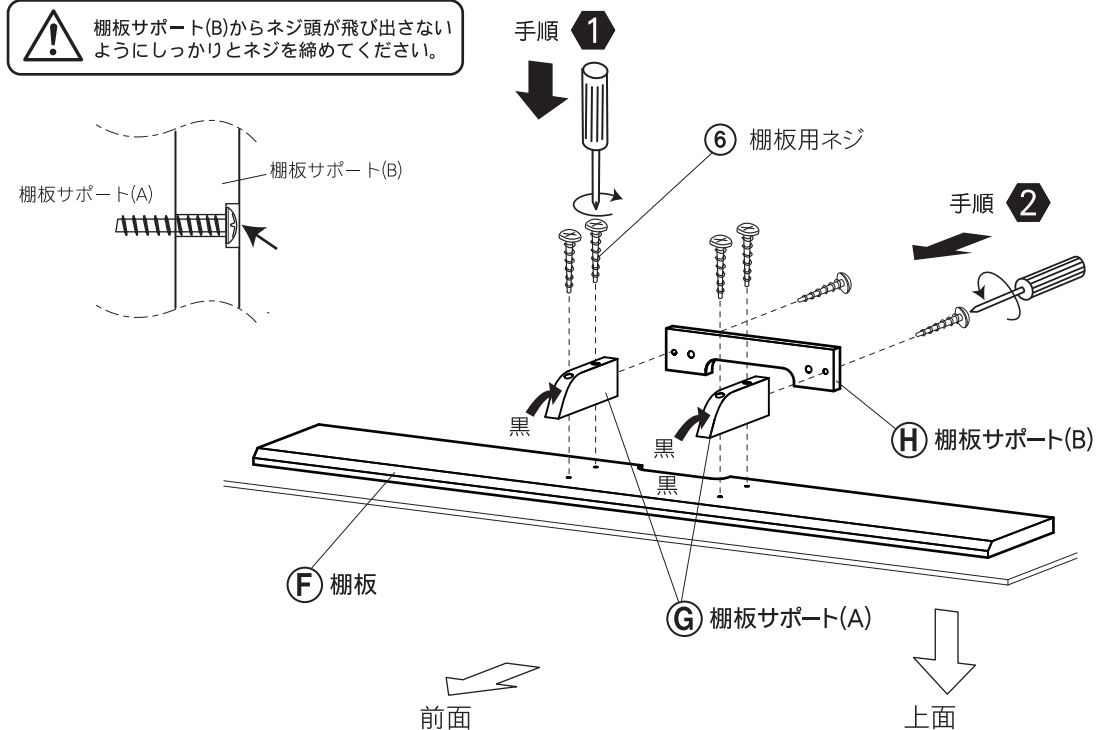
- ①丸ナットを柱(左)(右)の側面の穴に差し込んでください。(各1か所)(丸ナットの向きに注意してください。)
- 底板の裏面より②ボルト(A)を差し込み、m六角レンチで締め付けてください。

※組み立てた後慎重に起こしてください。

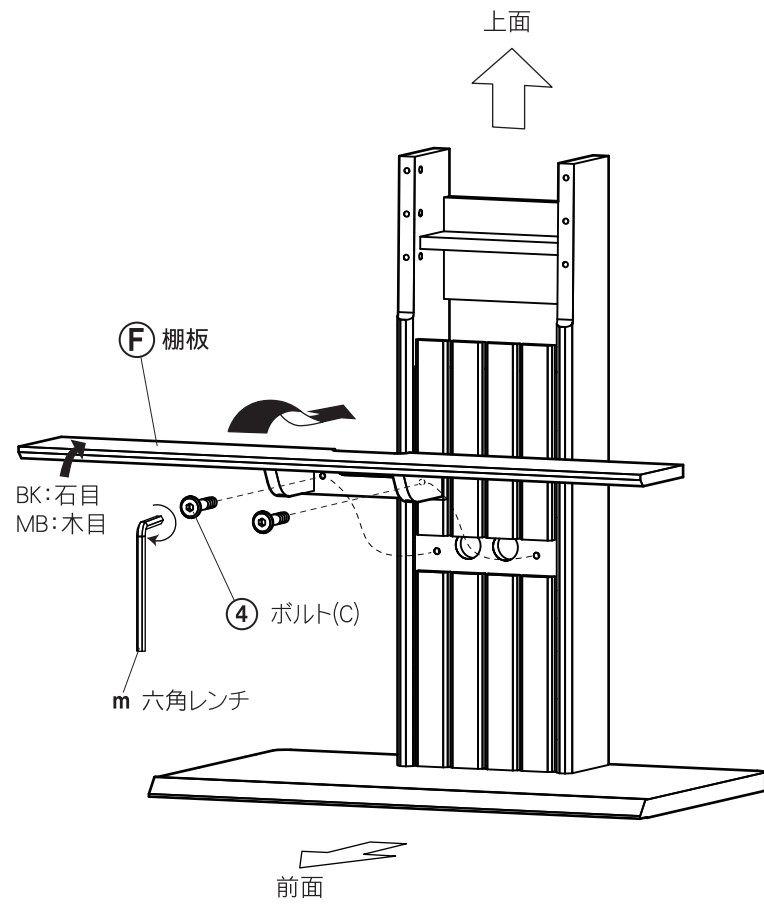


## 7 G 棚板サポート(A)と F 棚板 H 棚板サポート(B)の組み立て

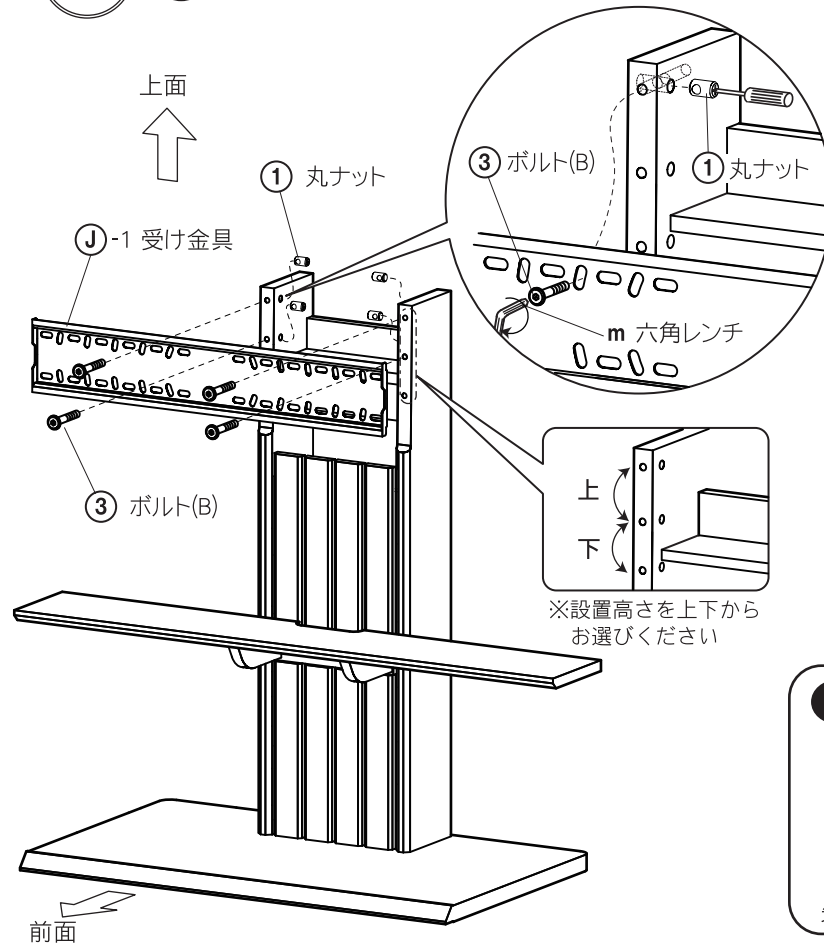
⚠棚板サポート(B)からネジ頭が飛び出さないようにしっかりとネジを締めてください。



## 8 F 棚板の組み立て



## 9 J-1 受け金具の取り付け



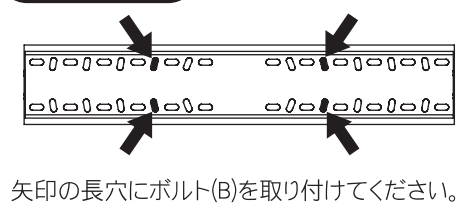
### 手順

1. ①丸ナットを柱(左)(右)の側面の穴に差し込んでください。(合計4か所)(工程④と同様に丸ナットの向きに注意してください。)

2. ①J-1受け金具の前面より③ボルト(B)を差し込み、m六角レンチで締め付けてください。

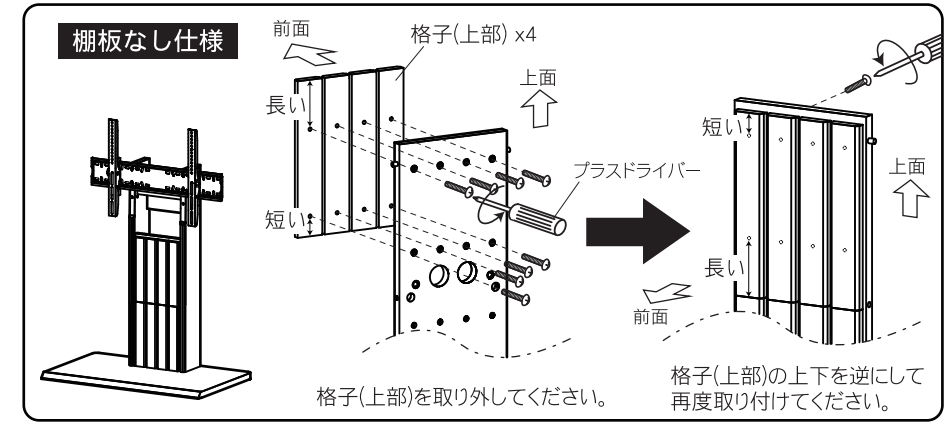
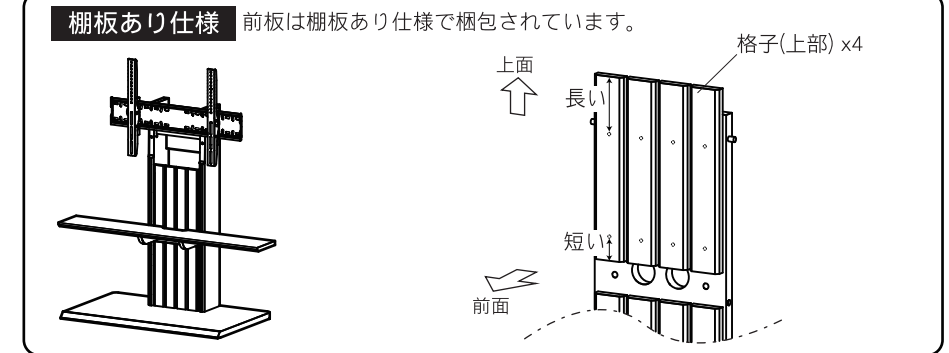
※受け金具の設置高さを変更する場合は、[手順1][手順2]を反対の手順で行い、①丸ナットを取り外し、高さを変えて再度[手順1][手順2]の通りに受け金具を取り付けてください。

### 取り付け位置



### ご案内

本製品は、棚板が不要な場合に前板の格子(上部)の上下を変えることで、すっきりとした見た目でご使用いただけます。お好みに合わせて組み立ててください。  
※ご使用中に棚板の有無を変更する場合は、必ずディスプレイを取り外し、収納物を移動させてから行ってください。



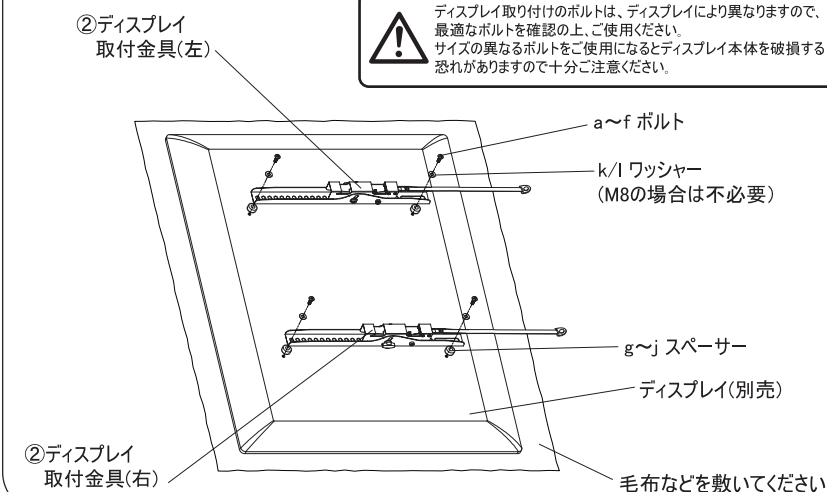
## 10 J-2 ディスプレイ取付金具の組み立て

【TLT-002-BK】の取扱説明書も一緒にお読みください。

### 2 ディスプレイ取付金具とディスプレイの組み立て

ご使用になるディスプレイに適したボルトでディスプレイ取付金具を取付けます。a~fの各種ボルト(M4/M6/M8)が付属していますので、必要に応じてご使用ください。付属のボルトで取付けが出来ない場合、ボルトのサイズをメーカーにご確認して頂き別途お求めください。g~jのスペーサーは、ディスプレイ背面の形状や配線位置に応じて使用してください。

⚠ ディスプレイ取り付けのボルトは、ディスプレイにより異なりますので、最適なボルトを確認の上、ご使用ください。サイズの異なるボルトをご使用になるとディスプレイ本体を破損する恐れがありますので十分ご注意ください。



## 11 ディスプレイの設置

【TLT-002-BK】の取扱説明書も一緒にお読みください。

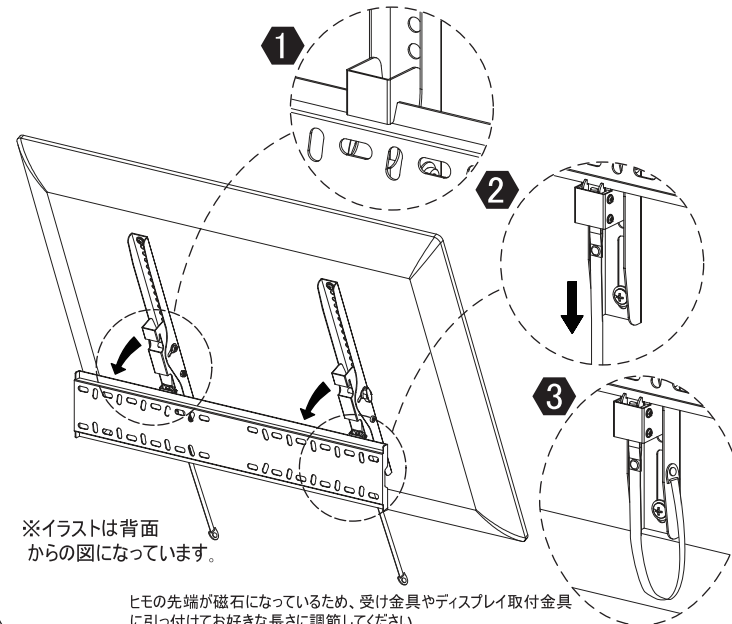


テレビの取り付け作業は、必ず2人で行ってください。

※ディスプレイの設置前に角度を調節してください。

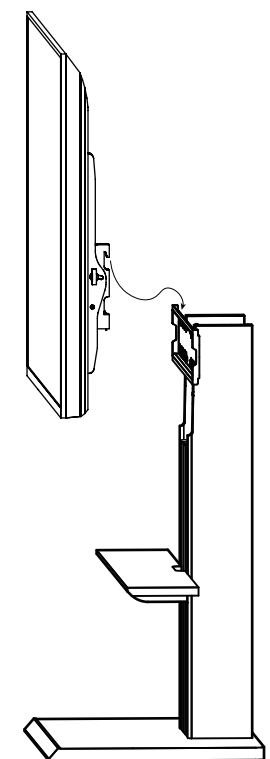
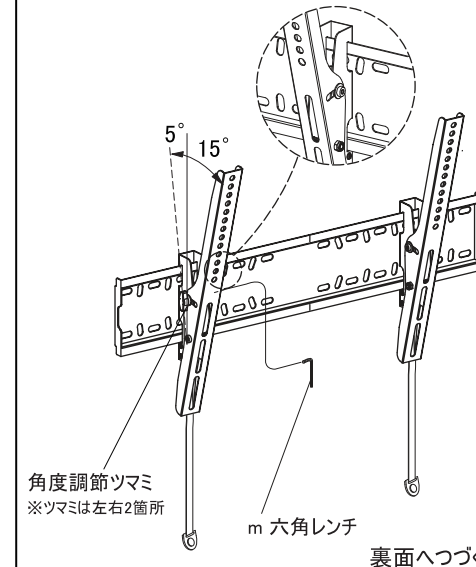
### 3 ディスプレイの設置

ディスプレイ取付金具を受け金具にセットしてください。ディスプレイを外す時は紐を引張りロックを解除してください。



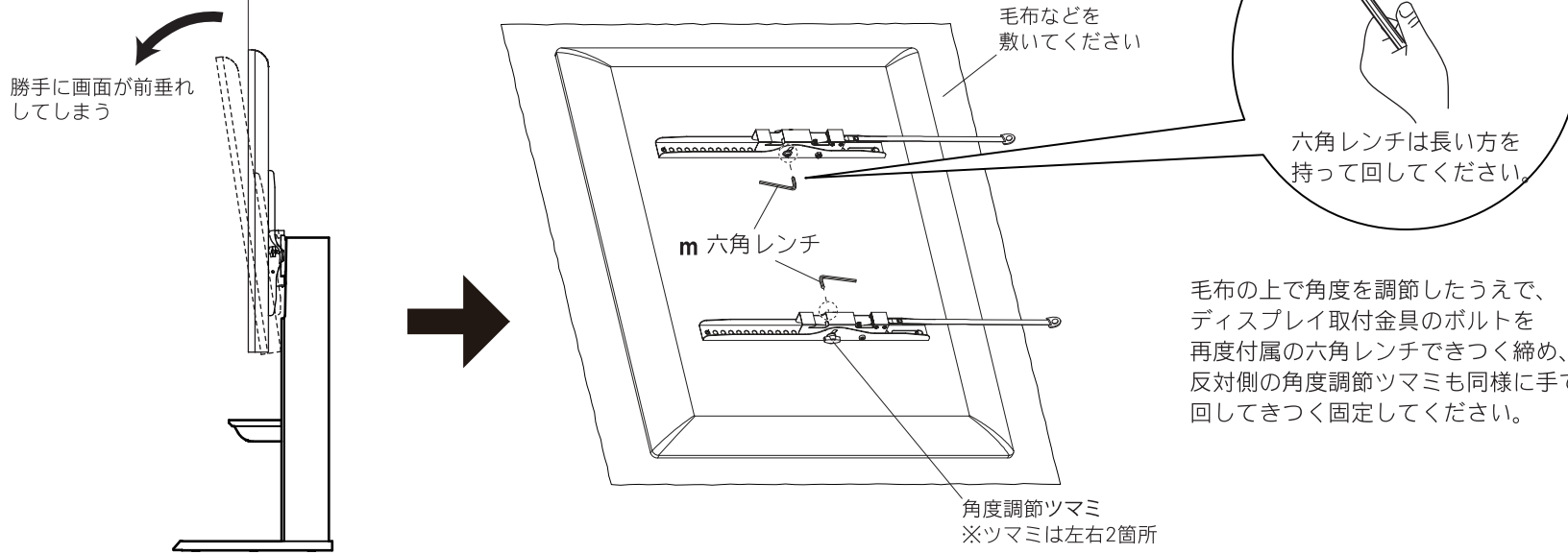
### 角度調節の仕方

● 下図にあるボルトを付属のm六角レンチで緩め、反対側のハンドルも緩めると前方15° 後方5°の範囲で角度調節ができます。角度調節後は、必ずツマミをしっかりと締めて固定してください。

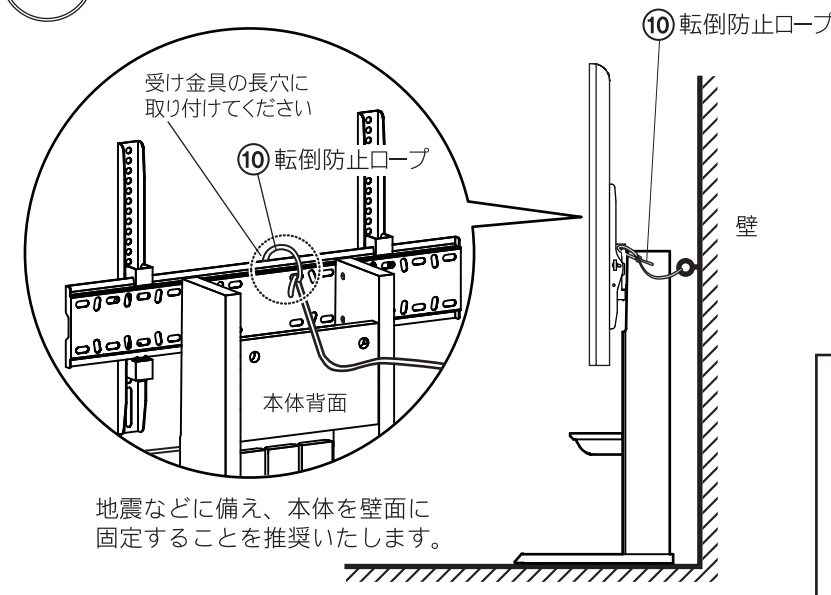


## ディスプレイを取り付けた時に、角度調節(チルト)が緩んでくる場合

※ディスプレイを取り外してから実施してください。



## 12 転倒防止ロープの取り付け



### ご注意

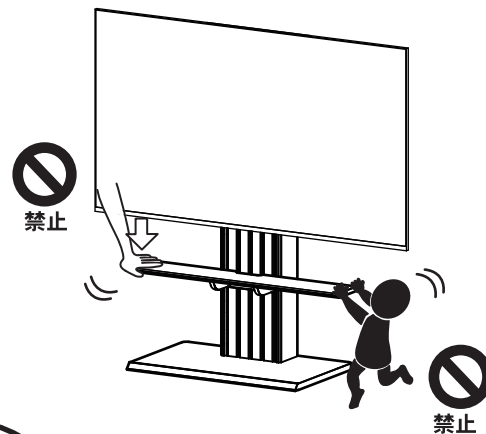
壁面へ固定するネジは付属しておりませんので、ホームセンターなどで、取り付ける壁面に適した物をお客様ご自身にてご用意いただきます様、お願い申し上げます。

壁面は、石膏ボードの他、色々な種類の壁がございます。しっかりと安全に固定していただくために、専門の業者様に依頼される事をお薦めいたします。

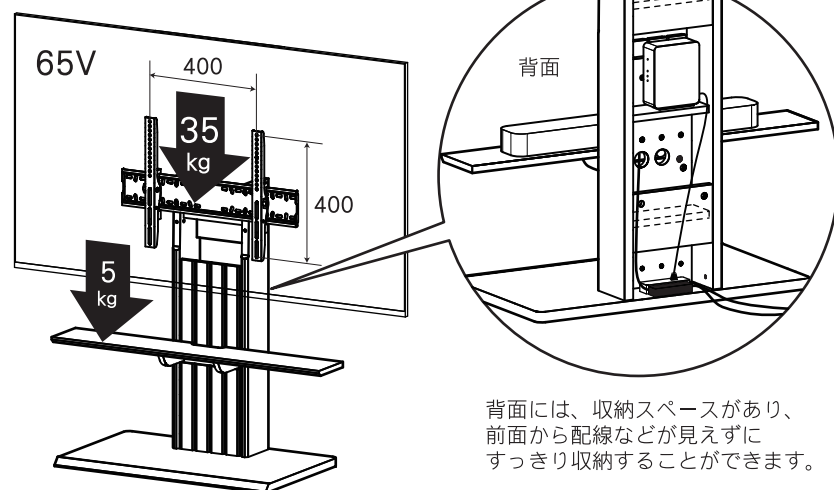
付属の「転倒防止ロープ」は地震などの揺れに対し、転倒を軽減するための物で、転倒しない事を保証するものではありませんので、予めご了承ください。

### ご注意

棚板の上に乗ったり、体重をかけたりしないでください。本体が倒れたり、破損やケガの原因となります。



## 13 できあがり!



### 耐荷重の目安

テレビ荷重 35kg  
棚板 5kg

### 対応テレビについて

(一部メーカーを除く)

薄型テレビ 40V~65V以下・35kg以下  
VESA取付 幅400 x 高さ400以下

※壁掛金具 TLT-002-BKの耐荷重・TV対応インチ・VESA取付幅は、本製品と異なります。上記内容を守ってご使用ください。

## 使用上のご注意

説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し、必要な時にお読みください。

### ■ 表示と図記号について

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

### ■ テレビやAVラックにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください

テレビが転倒したり、機器が落下したり、壊れたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### ■ 振動のある場所に設置しないでください

振動でテレビが転倒したり、機器が落下したり、壊れたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### ■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください

テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定した所に据え付けてください。

### ■ 部品を改造しないでください

AVラックの強度が保たれなくなり、テレビが転倒したり、機器が落下したりしてけがをすることがあります。

## 注意

### ■ テレビはAVラックの中心に設置してください

設置のバランスが悪いとテレビが転倒したり、壊れたりして、けがをすることがあります。

※記載されている耐荷重を超える機器は載せないでください。

### ■ 高温・多湿の場所に置かないでください

直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。

### ■ 移動・設置において

● 移動させる時は接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをすることがあります。

● 移動させた後に、ネジのゆるみ・金具のガタツキがないか確認してください。ガタツキがあると変形・転倒の原因となります。

● キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある所は、持ち上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る可能性があります。

### ■ 屋外や浴室など、水のかかる恐れのある場所には設置しないでください

さびや故障・変形の原因となります。

### ■ 転倒防止の対策を行ってください

転倒防止の対策を行わないと、テレビが転倒し、けがの原因となる場合があります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。

\*付属している転倒防止ロープ(前面方向)は地震等の揺れに伴う転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お客様や家具等に障害が生じた場合、一切の損害に保証をお約束するものではありません。

### ■ 薄型テレビ以外のものを載せないでください

本製品は薄型テレビを載せる専用AVラックです。その他のものや重いものを載せないでください。

### ■ 手や指はさみにご注意ください

ガラス扉や可動部に手や指をはさみ込まないようにしてください。けがをすることがあります。同様にテレビを設置する時にもご注意ください。

### ■ ガラス部品について

ガラスには強化処理をしていますが、使い方を誤ると割れる恐れがあります。割れるとガラスの破片が飛び散り、けがの原因となりますのでご注意ください。

● ガラスに物をぶつける、ガラス扉を開けたままぶつかるなど強い衝撃を与えないでください。破損しやすくなり、けがの原因となる場合があります。

● 鋭利なもので傷つけたり、ガラス面を突いたりしないでください。破損しやすくなり、けがの原因となる場合があります。

● ガラスに傷や欠けが生じた時は、すぐに取替えてください。強化ガラスの場合、ガラスに傷がつくと突然破損することがあります。

### ■ 放熱を妨げないでください

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあげる)

### ■ 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください

変形してテレビが転倒したり、機器が落下したりして、けがをすることがあります。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。